

# 駅サイティングを見逃すな!

## やいた片岡ロードレース実行委員会

矢板市は国内最高峰の自転車レース「Jプロツアー」の開催地として三年目を迎えます。やいた片岡ロードレースについては実行委員会の千野根友和会長にエコーなスポーツとして注目される自転車競技の楽しみ方やレースに寄せる思いを聞きました。

●なぜ矢板が開催地に市が数年前からスポーツツアーズに自転車を取り入れていたことJプロツアー会長の片山右京氏の推薦があったこと、矢板には自転車競技に適した地形が多いこと、片岡駅西口にロータリーができたことが大きな理由です。

●見どころは おすすめ観戦ポイントにはクリーナ矢板の急な坂道周辺(地図①)、スタートゴールの直線(地図②)、片岡駅西口ロータリー周辺(地図③)です。

●大会への思いは 子どもたちがレース会場に来て、プロの自転車競技のすごさを感じてもらいたいです。(記者の感想)

ママチャリしか乗らない私ですがヘルメットを被り競技用の自転車で道路を走る人を多く見かけるようになり、自転車の街矢板が広がっているのを感じます。(M・K)

●Jプロツアーとは 全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)が主催している自転車ロードレースで全国各地を転戦して、年間ポイントを争う大会です。

●仕事やスタッフは 本部スタッフは、十人で、大会PRやコース設定、飲食店の出店要請などを行います。また、当日はたくさんのお客様のボランティアスタッフもいます。PRの顔は、元自転車競技者でやいたシクロアンバサドール(自転車大使)の高坂美歩さん(矢板市出身)です。

特に③の場所では、選手が塊になってロータリーを回るとき風の音を切るときの風を切りたいです。

●大会への思いは 子どもたちがレース会場に来て、プロの自



【開催日時】  
6月9日(日)9時~17時20分  
JR片岡駅西口周辺  
~クリーナ矢板周辺 周回コース

クリーナ矢板

# あなただけのお気に入りをつくる

## Mark.

矢板市内で初めて個人向けのレーザーマーキングのお店「Mark.」を今年二月に立ち上げた西川正隼さん(三十一歳)にお話を伺いました。

●レーザーマーキングとは 材料にレーザービームを照射し、プリントのような刻印をすることが可能です。

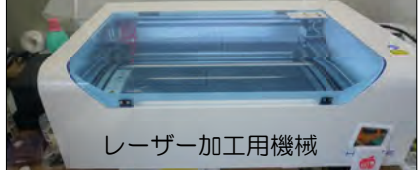
●店名の理由 「マーキング」と自分の名前である「正隼」から「Mark.」がいいと思います。名前を思い出しました。

●始めたきっかけは 大学卒業後、最初に勤めた会社でやっていたレーザー加工が面白かったこと、矢板では個人向けにやっていたお店がなかった。以前職の知識を生かした仕事をしたいと思ってお店を開きました。

●どのようなものに加工できますか 木、アクリル、ガラス、革などに加工ができます。サイズはA3まで、金属以外なら何にでもできます。ボールペン、野球やソフトで使うグローブやミットに名前を入れることもできます。弱点は、単色でしかできないことですね。その他にも印鑑、表札、千社札なども作っています。お客さまの要望に合わせて柔軟に対応し、その人だけの特別な一品を作るお手伝いをしています。

●今後の展望 二月から始めたばかりなので、今後一年くらいで皆さんにお店のことを周知していきたいです。皆さんのお気に入りの一品をお作りしますので、お気軽にご連絡ください。(記者の感想)

ちょっと分かりずらい場所にあります、探していくのもまた楽しみですね。壁には料金表も貼ってあり、見本も置いてあるので、ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか？ (R・K)



Mark.  
住所: 中386-6  
電話: 080-9552-7207